

令和2年度における指定管理者の評価結果 目次

| 施設名 | ページ |
|-------------------------|-----|
| 19 山口市宮野地域交流ステーション | |
| 事務事業評価表 | 1 |
| モニタリング評価表 | 2 |
| 20 山口市大歳地域交流ステーション | |
| 事務事業評価表 | 3 |
| モニタリング評価表 | 4 |
| 21 道の駅あいお | |
| 事務事業評価表 | 5 |
| モニタリング評価表 | 6 |
| 22 山口市阿知須健康福祉センター | |
| 事務事業評価表 | 7 |
| モニタリング評価表 | 8 |
| 23 道の駅「きらら あじす」 | |
| 事務事業評価表 | 9 |
| モニタリング評価表 | 10 |
| 24 山口市上村高齢者女性等活動促進センター | |
| 事務事業評価表 | 11 |
| モニタリング評価表 | 12 |
| 25 山口市伊賀地高齢者女性等活動促進センター | |
| 事務事業評価表 | 13 |
| モニタリング評価表 | 14 |
| 26 山口市柚野地域活性化センター | |
| 事務事業評価表 | 15 |
| モニタリング評価表 | 16 |
| 27 山口市島地温泉ふれあいセンター | |
| 事務事業評価表 | 17 |
| モニタリング評価表 | 18 |
| 28 山口市徳地三谷交流センター | |
| 事務事業評価表 | 19 |
| モニタリング評価表 | 20 |
| 29 山口市徳地高齢者・若者活性化センター | |
| 事務事業評価表 | 21 |
| モニタリング評価表 | 22 |
| 30 山口市柚野農産加工販売所 | |
| 事務事業評価表 | 23 |
| モニタリング評価表 | 24 |
| 31 山口市徳地新規就農者技術習得施設 | |
| 事務事業評価表 | 25 |
| モニタリング評価表 | 26 |
| 32 阿東ふるさと交流促進センター | |
| 事務事業評価表 | 27 |
| モニタリング評価表 | 28 |

事務事業評価報告書

施設名：山口市宮野地域交流ステーション

担当部 地域生活部

担当課 協働推進課

| | | | |
|--|--|--|---|
| 対象(誰、何に対して事業を行うのか) | | 手段(事務事業の内容、やり方、手順) | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・市民 ・宮野地域住民 ・県立大学学生等 ・地域交流ステーション施設 | | 宮野地域交流ステーションの管理運営業務を指定管理者に委託します。 指定管理期間 平成28年度～令和2年度 指定管理者 宮野自治連合会 開館時間 午前8時30分～午後10時 開館日 原則毎日 | |
| 意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) | | | |
| 山口県立大学をはじめとする高等教育機関の学生や、地域住民等が、宮野地域交流ステーションを交流の場として活用することで、地域づくり、まちづくりに資するコミュニティ活動を促します。 指定管理者制度を活用することで、施設の効率的な運営及び適切な管理を行います。 | | | |
| 総合計画体系 | 政策 | 協働・行政 | |
| | 施策 | 地域活動と市民活動の推進 | |
| | 基本事業 | 活動しやすい環境の整備 | |
| 事業開始背景等 | | 宮野地区にある高等教育機関である大学と市民とが積極的に交流できる場を確保し、大学の持つ専門的な知識と住民の生活の知恵等を活かし、魅力あるまちづくりの推進のため施設を設置しました。 | |
| 昨年度の実績評価 | | | |
| 妥当性 | 上位成果への貢献度 | | 公的関与の妥当性 |
| | <input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業 | | <input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり |
| 有効性 | 成果状況 | | 令和元年度と比較すると、全体的な利用者は増加しています。 特に、定期利用団体の利用が増加しており、地域におけるコミュニティ活動推進の場としての一定の成果があります。 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 | | |
| | 成果向上余地 | | |
| | | <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし | |
| 効率性 | 類似事業との再編成 | | |
| | <input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし | | |
| | コスト削減余地 | | 指定管理者が自主事業を行い利用料を得ることで、指定管理料の見直しを図ることができますが、現状では難しいと考えます。 |
| <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切 | | | |
| 改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など | | | |
| 地元の地域づくり団体である宮野自治連合会が指定管理者となり、効率的、弾力的な施設運営や利用者の安全確保など、協定書・仕様書等に基づいた適切な管理運営を行っています。 | | | |

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市宮野地域交流ステーション 指定管理者: 宮野自治連合会

指定期間: 平成28年度～令和2年度

| 評価項目 | | 評価コメント | | 評価 | | | | | 評点 | |
|------------------|--|--------------|--|---|---------------|------------|------------|--------------|------|----|
| | | | | 不履行多数 (1点) | 一部不履行 (2点) | 良好 (3点) | 優秀 (4点) | 特に優秀 (5点) | | |
| 施設の適正な管理運営の確保 | 管理運営の実施 | 運営業務 | ・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。 | 窓口での受付はスムーズに行われている。また、施設の施設も徹底されており、適正な施設運営が行われている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 維持管理業務 | ・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。 | 職員が定期的に巡回して清掃を行い、適正な施設の維持管理に努めている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 再委託監督 | ・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。 | 再委託業者に対して、適正な監督がなされている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 人員配置 職員研修 | ・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。 | 定期的に職員1名が施設内で待機している。ボランティアを活用した際には研修等を行うこととしている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 地域連携 | ・清掃など、地域や関係団体等との連携や協力が適切に行われていたか。 | 定期的に施設利用者や宮野中学校の生徒と協働し、施設内外の清掃を行っている。 | | | | ☆ | | 4 |
| | | 接客対応 | ・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。 | 苦情があった際には、運営委員会で報告・協議を行い、適切に対処している。 利用者からの質問等については、適切かつ真摯に対応している。 | | | ☆ | | | 3 |
| | 平等利用、安全対策等、危機管理体制 | 平等利用 | ・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。 | 施設の設置目的を理解し、市民の平等利用に関する姿勢が保たれている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 個人情報保護 | ・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。 | 鍵のかかる机の引き出しに、個人情報に關係する資料等を保管している。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 安全対策 | ・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。 | 利用者の安全に配慮し、事故の事前防止に努めている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 危機管理 | ・防火、防災対策など危機管理体制が適切であったか。 | 緊急時には、市を含めた関係各所へ連絡するよう連絡体制を整えている。 | | | ☆ | | | 3 |
| 利用者のサービス向上への取り組み | 利用拡大 | 周知活動 | ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。 | 地域の情報、施設からのお知らせ等を掲示板や地域交流センターだよりに掲載し、適切な情報提供を行っている。 | | | | ☆ | | 4 |
| | 利用者満足度 | サービス向上 | ・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。 | 施設及び施設周辺の環境美化、駅利用者への無料貸出傘・無料貸出本設置、自転車の整理・整頓の実施など利用者サービスの向上に向けて取り組んでいる。 | | | | ☆ | | 4 |
| | | 自主事業 | ・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。 | 施設の利用環境美化、駅利用者への傘の無料貸出し、県立大学と共催で実施している入学・卒業お祝い看板設置等の自主事業に取り組んでいる。 | | | | ☆ | | 3 |
| | | 改善運動 | ・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。 | 利用者アンケートを実施し、意見・要望に対応可能な範囲で管理運営に反映している。また、常時要望を受け付けることができるよう意見箱を設置している。 | | | | ☆ | | 3 |
| 経営状況 | 収支等実績 | 収支計画との整合性 | ・収支状況は当初収支計画と整合しているか。 | 指定管理料の中で、適正に運営が行われている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 安定経営 | ・安定的な経営が行われたか。 | 計画的な施設管理及び事業運営が為されている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 経理状況 | ・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。 | 利用者報告及び経理事務は、適正に処理されている。 | | | ☆ | | | 3 |
| 評点合計 | | | | 標準 | | 51 | 加算 | 3 | 54 | |
| 審査結果 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止による施設の休館がありました。定期利用団体の利用が増加しており、前年度と比較すると、施設利用者は増加しています。また、県立大学学生との交流イベント等は中止となりましたが、感染症対策の徹底など予防措置を講じ、地域住民の交流の場としての施設の設置目的を概ね達成していると判断できます。 | | | 年度評価 | | A | | | | |
| 【各年度の評価】 | | | | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 総合評価 | 良好 |
| | | | | A | A | A | A | A | | |
| 総評 | 指定期間を通じて施設の清掃、保守点検等の維持管理と貸館は円滑に行われており、適正な管理運営が行われています。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために施設の休館や事業自粛の影響もありましたが、利用者数は増加傾向にあり、自主事業として県立大学学生との共同企画を実施するなど、「県立大学学生と地域住民との交流の場の提供」という施設の設置目的を達成しています。 | | | 総合評価 | | 良好 | | | | |

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名：山口市大歳地域交流ステーション

担当部 地域生活部

担当課 協働推進課

| | | | |
|--|--|---|---|
| 対象(誰、何に対して事業を行うのか) | | 手段(事務事業の内容、やり方、手順) | |
| ・市民 ・大歳地域住民 ・大歳地域交流ステーション施設 | | 大歳地域交流ステーションの管理運営業務を指定管理者に委託します。 指定管理期間 平成29年度～令和3年度 指定管理者 大歳まちづくり協議会 開館時間 午前8時30分～午後10時 休館日 月曜日、年末年始 | |
| 意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) | | | |
| 地域住民等が、大歳地域交流ステーションを交流の場として活用することで、地域づくり、まちづくりに資するコミュニティ活動を促します。 指定管理者制度を活用することで、施設の効率的な運営及び適切な管理を行います。 | | | |
| 総合計画体系 | 政策 | 協働・行政 | |
| | 施策 | 地域活動と市民活動の推進 | |
| | 基本事業 | 活動しやすい環境の整備 | |
| 事業開始背景等 | | 平成23年に開催された国民体育大会の来場者をおもてなしするための施設として、JR大歳駅舎を整備・活用し、国体終了後は地域づくりやコミュニティ活動を中心とした「まちづくり」をするための施設として設置しました。 | |
| 昨年度の実績評価 | | | |
| 妥当性 | 上位成果への貢献度 | | 公的関与の妥当性 |
| | <input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業 | | <input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり |
| 有効性 | 成果状況 | | 令和元年度と比較すると全体的な利用者数は減少しています。主に新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により、会議やイベントの開催等が減り、利用者数が減少していることが、利用者減少の要因の一つと考えられます。 今後、新型コロナウイルス感染症が収束することにより利用者の増加が見込まれます。 |
| | <input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下・悪化 | | |
| | 成果向上余地 | | |
| <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし | | | |
| 効率性 | 類似事業との再編成 | | |
| | <input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし | | |
| | コスト削減余地 | | 指定管理者が自主事業を行い利用料を得ることで、指定管理料の見直しを図ることができますが、施設の現状では難しいと考えます。 |
| <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切 | | | |
| 改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など | | | |
| 地元の地域づくり団体である大歳まちづくり協議会が指定管理者となり、効率的、弾力的な施設運営や利用者の安全確保など、協定書・仕様書等に基づいた適切な管理運営を行っています。 | | | |

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市大歳地域交流ステーション 指定管理者: 大歳まちづくり協議会

指定期間: 平成29年度～令和3年度

| 評価項目 | | 評価コメント | | 評価 | | | | | 評点 | |
|------------------|---|-----------|--|--|---------------|------------|------------|--------------|----|---|
| | | | | 不履行多数 (1点) | 一部不履行 (2点) | 良好 (3点) | 優秀 (4点) | 特に優秀 (5点) | | |
| 施設の適正な管理運営の確保 | 管理運営の実施 | 運営業務 | ・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。 | 窓口での受付は、スムーズに行われている。また、施設の施設も徹底されており、適正な施設運営が行われている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 維持管理業務 | ・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。 | ワークステーション大歳職員が定期的に巡回して清掃を行い、適正な施設の維持管理に努めている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 再委託監督 | ・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。 | 再委託業者に対して、適正な監督がなされている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 人員配置職員研修 | ・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。 | 施設の利用状況を考慮し、適正な人員配置がなされている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 地域連携 | ・清掃など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。 | ワークステーション大歳等関係団体との合同消防訓練の実施、関係地区と連携を図りながらのイベント実施等、地域との連携が図られている。 | | | | ☆ | | 4 |
| | | 接客対応 | ・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。 | 苦情があった際は、迅速に対応している。利用者からの質問等については、適切かつ真摯に対応している。 | | | ☆ | | | 3 |
| | 平等利用、安全対策等、危機管理体制 | 平等利用 | ・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。 | 施設の設置目的を理解し、市民の平等利用に関する姿勢が保たれている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 個人情報保護 | ・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。 | 個人情報に関係する資料等は、施設にて保管している。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 安全対策 | ・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。 | 利用者の安全に配慮し、事故の事前防止に努めている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 危機管理 | ・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。 | 緊急時には、市を含めた関係各所へ連絡するよう連絡体制を整えている。また、防災救急セットの備えやAEDの設置、訓練もされている。 | | | ☆ | | | 3 |
| 利用者のサービス向上への取り組み | 利用拡大 | 周知活動 | ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。 | センターだよりやまちづくり協議会が発行する「かわら版おとし」(大歳地区に全戸配布)に、施設の紹介等を掲載して利用促進を図っている。また、大歳まちづくり協議会のホームページ等で広報活動を行っている。 | | | ☆ | | | 4 |
| | | サービス向上 | ・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。 | 受付簿に意見欄を設け、利用者のニーズ把握に努めている。また、自主事業を通じて利用者の拡大に努める等、施設の利用促進を図っている。 | | | ☆ | | | 4 |
| | 利用者満足度 | 自主事業 | ・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。 | 「四季の写真展」の開催等、積極的に施設利用拡大のための取組がなされている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 改善運動 | ・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。 | 受付簿に意見欄を設け、利用者のニーズ把握に努めている。アンケートの結果については、内容を検討し、可能な限り管理運営に反映している。 | | | ☆ | | | 3 |
| 経営状況 | 収支等実績 | 収支計画との整合性 | ・収支状況は当初収支計画と整合しているか。 | 指定管理料の中で、適正に運営が行われている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 安定経営 | ・安定的な経営が行われたか。 | 定期的な施設利用があり、計画的な施設管理及び事業運営がなされている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 経理状況 | ・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。 | 利用者報告及び経理事務は、適正に処理されており、毎月の利用状況についても報告が行われている。 | | | ☆ | | | 3 |
| 評点合計 | | | | 標準 | | 51 | 加算 | 3 | 54 | |
| 審査結果 | 前年度と比較すると、施設利用者が減少しています。要因としては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために施設を休館したこと、毎年恒例の自主事業である「交流列車おとしまつり」の開催を中止したことが考えられます。しかしながら、施設利用者や写真展示等の自主事業の参加者は一定程度あることから、「地域住民の交流の場の提供」という施設の設置目的を達成していると判断できます。 | | | 年度評価 | | | A | | | |
| 【各年度の評価】 | | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 総合評価 | | | |
| | | A | A | A | A | | | | | |
| 総評 | — | | | — | | | — | | | |

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名：道の駅あいお

担当部 秋穂総合支所

担当課 地域振興課

| | | | |
|--|--|--|---|
| 対象(誰、何に対して事業を行うのか) | | 手段(事務事業の内容、やり方、手順) | |
| 地域農家 道の駅あいお 利用者 | | 【施設概要】道の駅あいお ・平成7年1月オープン ・直売所、飲食提供施設、情報発信コーナー 【管理内容】 ・休館日は毎月第2、第4水曜日及び12月31日から1月3日です。 ・指定管理者へ管理運営を委託しました。 ・指定管理者へ助言指導を行いました。 | |
| 意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) | | 【指定管理者が実施する主な業務】 | |
| 地域農産物の消費が拡大します。 地域農家の所得向上に寄与します。 地域内外から多くの方が道の駅を訪れるようになります。 | | ・地域農産物、特産品等の販売実施に関するを行いました。 ・都市・農村交流、地域情報発信、イベント等を行いました。 ・南部地域特産品開発会議に参加し、特産品開発に積極的に関わりました。 ・施設の清掃、点検、修繕等の維持管理を行いました。 | |
| 総合計画体系 | 政策 | 市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち | |
| | 施策 | 農業がもたらす多彩な恵みを生かしたまち | |
| | 基本事業 | 緑と活力あふれる農村の振興 | |
| 事業開始背景等 | 農産物等の販売、都市と農村との交流により、地域の振興を図るために設置されました。 | | |
| 昨年度の実績評価 | | | |
| 妥当性 | 上位成果への貢献度 | | 公的関与の妥当性 |
| | <input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業 | | <input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり |
| 有効性 | 成果状況 | 近隣の農産物・特産品直売所等の類似施設も増加していますが、農産物売上高は増加傾向にあり、来場者数、客単価も増加しています。農産物を使用した特産品の開発・販売、地域情報の発信やイベントの工夫などにより、成果向上の余地はありと考えています。 | |
| | <input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 | | |
| | 成果向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし | | |
| 効率性 | 類似事業との再編成 | | 市内には、同様の施設がありますが、各地域の拠点として地元に着した運営が行われており、統合等は困難です。 |
| | <input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし | | |
| 効率性 | コスト削減余地 | | コストを削減する新たな方法はありませんが、今後も指定管理者と協議しながら、経費節減に努めます。 |
| | <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切 | | |
| 改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など | | | |
| <改革概要> 維持管理費用を抑えた中で、順調に成果をあげていることから、現在の状態を維持していく必要があります。 | | | |
| <指定管理者の評価> 道の駅あいおの指定管理者である秋穂産業振興協会は、限られた施設容量の中で、地域や関係団体と連携することで、道の駅あいおの設置効果を最大限に発揮し、地域振興に貢献しています。 | | | |

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 道の駅あいお

指定管理者: 秋穂産業振興協会

指定期間: 令和元年度～令和5年度

| 評価項目 | | 評価コメント | | 評価 | | | | | 評点 | |
|------------------|---|---------------------------|---|---|---------------|------------|------------|--------------|------|---|
| | | | | 不履行多数 (1点) | 一部不履行 (2点) | 良好 (3点) | 優秀 (4点) | 特に優秀 (5点) | | |
| 施設の適正な管理運営の確保 | 管理運営の実施 | 運営業務 | ・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。 | テナント料は現金徴収され、未徴収の事例は該当年度はなかった。夜間は機械警備が導入され、カギは職員により適切に管理されている。不具合の箇所は修繕が行われている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 維持管理業務 | ・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。 | 職員による日常清掃、偶数月の業者による清掃、年末清掃の他、各種法定点検など、適切に行われている。所有備品について、備品台帳と照合し、適切に管理されていることを確認した。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 再委託監督 | ・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。 | 適切に監督されている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 人員配置 職員研修 | ・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。 | シフトが組まれ、適切な人員配置が行われている。近隣道の駅の視察研修は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 地域連携 | ・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。 | 多くの、行事が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となり、またコロナ禍のため、地域行事への参加ができなかった。一方、南部特産品開発会議へ参加し、少ない機会の中、生産者や地元団体との積極的な連携が図られている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 接客対応 | ・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。 | 苦情は駅長に報告し、適切に対応している。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 労働環境 | ・良質なサービスを提供するため、労働法規等を遵守した適切な勤務態勢がとられているか。 ・休暇制度、職場環境の改善、福利厚生制度等就業状況に配慮がされているか。 | 労働保険等に加え、勤務時間についても問題なくシフトが組まれており、有給休暇制度などの福利厚生制度が整えられている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | 平等利用、安全対策等、危機管理体制 | 平等利用 | ・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。 | 条例、規則等を遵守し、適切に対応されている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 個人情報保護 | ・利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか。 | 個人情報に関する書類等は、指定管理事務局の鍵付き書庫で保管され、適切に管理されている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 安全対策 | ・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。 | 利用者の安全確保のため、施設内外の整理整頓が行われている。花を通路脇に置くことにより、店舗への進入方向を制限するなど工夫が見られる。 | | | ☆ | | | 3 |
| 危機管理 | | ・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。 | 防犯については、機械警備を導入している。防災対策については、連絡網を作成し、緊急連絡先を整理するなど、消防署の指図に従っており、感染症対策の徹底など予防措置を講じて危機管理体制が整備されている。 | | | ☆ | | | 3 | |
| 利用者のサービス向上への取り組み | 利用拡大 | 周知活動 | ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。 | 南部特産品開発会議から誕生した新商品発表会会場となるなど、テレビ等のメディアを活用し、地元特産品について効果的な広報が行われている。ホームページ・パンフレットのリニューアルを検討中である。 | | | ☆ | | | 4 |
| | 利用者満足度 | サービス向上 | ・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。 | 地元特産品を使用した商品を前面に打ち出すなど、スペースを有効活用した売り場が設置されている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 改善運動 | ・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。 | 利用者アンケートを実施し、利用者の意見や要望を把握し、また利用者とのコミュニケーションを大事にし、サービス向上や利用促進を図っている。 | | | ☆ | | | 4 |
| 経営状況 | 収支等実績 | 収入確保 | ・収入増加のための取組がなされたか。 | 南部特産品開発会議で開発された地元特産品の販売、メディアの活用、他地域の特産品の販売のほか、商品配置を工夫するなど積極的に取り組んでいる。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 収支計画との整合性 | ・収支状況は当初収支計画と整合しているか。 | 特産品の販売が好調であり、収入は当初収支計画を上回っている。支出については、必要最小限に抑えられ、当初収支計画を下回っている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 安定経営 | ・安定的な経営が行われたか。 | 南部特産品開発会議で地元特産品が開発、販売され、メディアでも取り上げられたことにより、利用者数・売上高・客単価ともに上昇傾向にあり、概ね安定的な運営がなされている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 経理状況 | ・月別報告など、経理事務は適正に処理されたか。 | 経理事務は適正に処理されている。 | | | ☆ | | | 3 |
| 評点合計 | | | | 標準 | | 57 | 加算 | 2 | 59 | |
| 審査結果 | 秋穂産業振興協会は、道の駅あいおの限られた施設容量の中で、創意工夫のもと運営を行っている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により地域行事等への参加が出来なかったが、生産者や地元団体と積極的な連携を図っている。また、南部地域特産品開発会議で開発された地元特産品や地元農水産物の販売を行い、コロナ禍であっても売り上げを伸ばし、経営状況も安定している。 | | | 年度評価 | | A | | | | |
| 【各年度の評価】 | | | | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 総合評価 | |
| 総評 | | | | A | A | | | | | — |

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名：山口市阿知須健康福祉センター

担当部 阿知須総合支所

担当課 総合サービス課

| | | | |
|---|--|---|---|
| 対象(誰、何に対して事業を行うのか) | | 手段(事務事業の内容、やり方、手順) | |
| 阿知須健康福祉センター 市民 | | 阿知須健康福祉センターの管理運営を指定管理により行いました。 1. 指定管理者 山口市社会福祉協議会 2. 施設概要 自発的な健康づくり活動、健やかに笑顔で暮らせるまちづくりの推進のため、平成15年開設 3. 開設時間 午前9時から午後5時まで 4. 主な利用者 健康福祉推進活動団体、個人 5. サービス内容 個人・団体が活動を行うための施設(多目的スタジオ、高齢者娯楽室等)の利用許可や指定管理者による自主事業(高齢者対象の健康増進・交流促進事業など各種福祉事業)の開催 | |
| 意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) | | | |
| 健康福祉センターを活用することで、市民の交流促進、健康増進、地域福祉の充実を図ります。 | | | |
| 総合計画体系 | 政策 | 子育て・健康福祉 | |
| | 施策 | 地域福祉の充実 | |
| | 基本事業 | 施策の総合推進 | |
| 事業開始背景等 | | すべての市民が安全で健康な生活を送ることができ、自発的な健康づくり活動を推進するとともに、健やかに笑顔で暮らせるまちづくりの推進を図るため、当センターを設置しました。 | |
| 昨年度の実績評価 | | | |
| 妥当性 | 上位成果への貢献度 | | 公的関与の妥当性 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業 | | <input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり |
| 有効性 | 成果状況 | | 新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少していますが、今後住民ニーズに応じた自主事業や施設の貸し出しを行うことで、より一層の成果向上が見込めます。 |
| | <input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 | | |
| | 成果向上余地 | | |
| <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし | | | |
| 効率性 | 類似事業との再編成 | | 類似事業はありません。 |
| | <input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし | | |
| | コスト削減余地 | | 指定管理者制度を導入している施設であり、特にありません。 |
| <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切 | | | |
| 改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など | | | |
| <p>指定管理者である山口市社会福祉協議会は、事業計画書、協定書及び年度協定書に基づき適正に管理運営されています。定期利用団体等との日程調整、利用者ニーズの把握や利用者への配慮に努めるとともに、地域活動へ積極的に参加するなど、地域密着型の運営がされていると認められます。</p> | | | |

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市阿知須健康福祉センター

指定管理者: 社会福祉法人山口市社会福祉協議会

指定期間: 令和元年度～令和5年度

| 評価項目 | 評価コメント | 評価 | | | | | 評点 | | | | |
|-------------------|--|--|---|--|------|------|------|------|---|----|---|
| | | 不履行多数 | 一部不履行 | 良好 | 優秀 | 特に優秀 | | | | | |
| | | (1点) | (2点) | (3点) | (4点) | (5点) | | | | | |
| 施設の適正な管理運営の確保 | 運営業務 | ・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。 | 利用許可については、定期利用団体等と調整され、利用者への配慮に努められている。利用希望者に対しては、申請前に十分に施設の目的や利用できる要件等を説明されていることから、不許可決定された案件もなく、苦情もない。 | | | ☆ | | | 3 | | |
| | 維持管理業務 | ・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。 | 仕様書に示されている項目、頻度を遵守し、清掃、保守点検が実施されており、施設の維持管理が十分にできている。備品は、適正に管理されている。 | | | ☆ | | | 3 | | |
| | 再委託監督 | ・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。 | 各再委託業務の作業スケジュール等が適切に管理されており、作業後の検査も職員が行うなど、適正な監督が実施されている。 | | | ☆ | | | 3 | | |
| | 人員配置職員研修 | ・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。 | 施設の規模等に即した適正な人員配置がなされている。年2回、消防計画に基づく消防訓練を実施されている。職員は既にAEDを使用した救急救命講習が行われており、有事の際の安全性確保のための取組がなされている。 | | | ☆ | | | 3 | | |
| | 地域連携 | ・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。 | 民生委員、福祉員、母子推進員や地域で活動している様々な福祉関係団体と日常的に連携・協働して、地域の密着性を重視した管理運営がなされている。 | | | ☆ | | | 4 | | |
| | 接客対応 | ・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。 | 山口市社会福祉協議会が作成している「苦情対応マニュアル」により、苦情に対応する体制が整えられている。 | | | ☆ | | | 3 | | |
| | 労働環境 | ・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。 | 労働基準法及び就業規則を遵守され、良質なサービスを提供するための労働環境づくりに努められている。 | | | ☆ | | | 3 | | |
| 平等利用、安全対策等、危機管理体制 | 平等利用 | ・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。 | 職員が施設の設置目的を理解され、利用希望者へ適切に説明できる体制にある。また、年間利用者と新規利用希望者との日程調整をされるなど、市民の平等利用に関する姿勢は適正である。 | | | ☆ | | | 3 | | |
| | 個人情報保護 | ・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。 | 山口市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護並びに関係書類の適正な管理に努められている。 | | | ☆ | | | 3 | | |
| | 安全対策 | ・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。 | 不要な物品等の放置もなく、施設内外が整理整頓されており、日常から安全対策に努められている。 | | | ☆ | | | 3 | | |
| | 危機管理 | ・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。 | 消防訓練を年2回実施するとともに安全確保のための技能の習得、必要な研修が実施されている。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための感染症予防対策が徹底して講じられている。施設は、警備会社に管理を委託されており、各部屋にセンサーが設置されるなど、必要な防犯体制が講じられているとともに、職員の緊急連絡網を備え、危機管理体制を整えられている。 | | | ☆ | | | 3 | | |
| 利用者のサービス向上への取り組み | 利用拡大 | 周知活動 | ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。 | 「市社協だより」、「地域交流センターだより」を通じて、情報提供等を行っている。特に、今年度の下半期には定期利用団体の活動内容、貸館施設(部屋)の写真・施設の利用申請要領を掲載したチラシを作成して施設内に設置するなど、利用拡大のための広報活動に努められている。 | | | ☆ | | | 3 | |
| | 利用者満足度 | サービス向上 | ・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。 | 施設運営や自主事業に対するニーズの把握のため、施設利用者に対しては利用者アンケートを毎年実施している。また、今年度は新型コロナウイルスの影響で自主事業の「おげんきかん祭り」を開催できなかったため、利用者ニーズの把握のための利用者アンケート、体験コーナーの催しに代わるものとして、民生委員、福祉員、母子推進員や定期利用団体から意見を聴取するなど、利用者サービス向上や利用促進へ積極的に取り組まれている。 | | | ☆ | | | 3 | |
| | | 自主事業 | ・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。 | 利用者ニーズの把握のため、民生委員、福祉員、母子推進員や地域で活動している様々な福祉関係団体と日常的に連携・協働し、地域の密着性を重視した自主事業を実施している。 | | | ☆ | | | 3 | |
| | | 改善運動 | ・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。 | 施設利用者に対しては利用者アンケートを実施。また、定期利用団体等に対しては意見、要望を聴取するなどして、利用者ニーズの把握に努められている。 | | | ☆ | | | 3 | |
| 経営状況 | 収支等実績 | 収入確保 | ・収入増加のための取組がなされたか。 | 施設の貸館については、全額減免対象の利用者が大半を占めているが、一般利用者の貸館にも努められている。 | | | ☆ | | | 3 | |
| | | 収支計画との整合性 | ・収支状況は当初収支計画と整合しているか。 | 事業計画及び実績報告を照合した結果、整合している。 | | | ☆ | | | 3 | |
| | | 安定経営 | ・安定的な経営が行われたか。 | 事業計画等に基づき計画的な施設管理運営がなされ、また、適正な人員確保も図られており、安定的な運営が行われている。 | | | ☆ | | | 3 | |
| | | 経理状況 | ・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。 | 利用者数の報告及び経理事務は、適正に処理されている。 | | | ☆ | | | 3 | |
| 評点合計 | | | | | | 標準 | 57 | 加算 | 1 | 58 | |
| 審査結果 | 指定管理者である山口市社会福祉協議会は、設備点検や清掃・軽微な修繕等を堅実に実施されており、適正に施設の管理運営がなされている。また、民生委員、福祉員、母子推進員や地域で活動している様々な福祉関係団体と日常的に連携・協働し、地域との密着性を重視した管理運営がなされている。 | | | | | | 年度評価 | | | A | |
| 【各年度の評価】 | | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | | | | | |
| 総評 | | — | | | | | | 総合評価 | | | — |

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名:道の駅「きらら あじす」

担当部 阿知須総合支所

担当課 地域振興課

| | | | |
|--|--|---|--|
| 対象(誰、何に対して事業を行うのか) | | 手段(事務事業の内容、やり方、手順) | |
| 地域農家 道の駅「きらら あじす」 利用者 | | 【施設概要】道の駅「きらら あじす」 平成17年3月オープンです。直売所、飲食提供施設、特産品加工施設、情報発信コーナー等があります。 【管理内容】 指定管理者(阿知須まち開発株式会社)へ管理運営委託を行いました。 【指定管理者が実施する主な業務】 特産品等の販売、地域情報発信、イベント、施設の維持管理 | |
| 意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 地域農産物の消費が拡大します。 地域農家の所得向上に寄与します。 多くの人が道の駅を訪れるようになります。 | | <令和2年度> 令和元年度に策定した『道の駅「きらら あじす」魅力アップ事業計画』に基づき、駐車場改良工事、花の駅おもてなし整備事業を実施しました。 | |
| 総合計画体系 | 政策 | 産業・観光 | |
| | 施策 | 農林業の振興 | |
| | 基本事業 | 活力ある農山村づくり | |
| 事業開始背景等 | | 農産物等の販売、都市と農村との交流により、地域の振興を図るために設置しました。指定管理者である阿知須まち開発(株)は、市が700万円を出資しており、出資比率は60.9%の第三セクターです。 | |
| 昨年度の実績評価 | | | |
| 妥当性 | 上位成果への貢献度 | | 公的関与の妥当性 |
| | <input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業 | | <input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり |
| 有効性 | 成果状況 | | 利用者が減少した原因は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休業、営業時間短縮や外出自粛と推察されます。 今後は令和元年度に策定した道の駅「きらら あじす」魅力アップ事業計画に基づき、地域の農水産物や特産品の販売拡大を図り、また、山口きらら博記念公園との近接性を生かした交流人口拡大の取組を進めます。 |
| | <input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 | | |
| | 成果向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし | | |
| 効率性 | 類似事業との再編成 | | 市内には同様の施設がありますが、各地域の拠点として地元に着目した管理運営を行っており、統合等は困難です。 |
| | <input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし | | |
| | コスト削減余地 | | 指定管理者制度を導入している施設であり、特にありません。 |
| コスト削減余地 | | <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切 | |
| 改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など | | | |
| <改革概要> 阿知須地域の産業振興並びに交流の拠点施設として成果をあげており、効果を維持しつつ維持管理経費が最小限となるよう努めます。 | | | |
| <指定管理者の評価> 道の駅「きらら あじす」の指定管理者である阿知須まち開発(株)は、施設の維持管理、情報案内業務等、指定管理者としての業務を適切に実施しているとともに、施設の設置目的に沿った自主事業を積極的に行っており、地元農家の所得向上をはじめ、地域振興に貢献しています。 | | | |

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:道の駅「きらら あじす」

指定管理者:阿知須まち開発株式会社

指定期間:平成28年度~令和2年度

| 評価項目 | 評価コメント | 評価 | | | | | 評点 | |
|---|---|--|---------------------------------------|------------|------------|--------------|------|----|
| | | 不履行多数 (1点) | 一部不履行 (2点) | 良好 (3点) | 優秀 (4点) | 特に優秀 (5点) | | |
| 施設の適正な管理運営の確保 | 運営業務 | ・受付事務、利用許可、料金の徴収、鍵の施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。 | | | ☆ | | 3 | |
| | 維持管理業務 | ・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。 | | | ☆ | | 3 | |
| | 再委託監督 | ・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。 | | | ☆ | | 3 | |
| | 人員配置 職員研修 | ・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。 | | | ☆ | | 3 | |
| | 地域連携 | ・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。 | | | ☆ | | 3 | |
| | 接客対応 | ・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。 | | | ☆ | | 3 | |
| | 労働環境 | ・良質なサービスを提供するため、労働法規等を遵守した適切な勤務態勢がとられているか。 ・休暇制度、職場環境の改善、福利厚生制度等就業状況に配慮がされているか。 | | | ☆ | | 3 | |
| | 平等利用 | ・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。 | | | ☆ | | 3 | |
| | 個人情報保護 | ・利用者の個人情報保護するための対策が適切であったか。 | | | ☆ | | 3 | |
| | 安全対策 | ・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。 | | | ☆ | | 3 | |
| 危機管理 | ・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。 | | | ☆ | | 3 | | |
| 利用者のサービス向上への取り組み | 利用拡大 | 周知活動 | ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。 | | | ☆ | | 3 |
| | 利用者満足度 | サービス向上 | ・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。 | | | ☆ | | 3 |
| | | 自主事業 | ・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。 | | | ☆ | | 4 |
| | | 改善運動 | ・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。 | | | ☆ | | 3 |
| 経営状況 | 収支等実績 | 収入確保 | ・収入増加のための取組がなされたか。 | | | ☆ | | 3 |
| | | 収支計画との整合性 | ・収支状況は当初収支計画と整合しているか。 | | | ☆ | | 3 |
| | | 安定経営 | ・安定的な経営が行われたか。 | | | ☆ | | 3 |
| | | 経理状況 | ・月別報告など、経理事務は適正に処理されたか。 | | | ☆ | | 3 |
| 評点合計 | | | | 標準 | 57 | 加算 | 1 | 58 |
| 審査結果 | 道の駅「きらら あじす」設置当初からの指定管理者である阿知須まち開発株式会社は、地域の状況等を深く理解されており、地元関連団体、特に農産物出荷者との信頼関係が強く、地域や関係団体と積極的な連携が図られている。 令和2年度は施設利用者数、売上額はともに前年度比で減少したが、その原因は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休業、営業時間短縮や外出自粛と推察される。なお、経営状況については概ね良好であり、引き続き安定した経営に努められている。 | | | | | 年度評価 | A | |
| 【各年度の評価】 | | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 総合評価 | 良好 |
| 総評 | | A | A | A | A | A | | |
| 基本協定及び年度協定に基づき、適正な維持管理業務が実施された。農産物出荷者等と連携し、新商品の開発や出荷量の増加に努められ、集客増に向けて努力された。無料Wi-Fiスポット整備、各種イベントの開催、来場者アンケートによる意見を反映したサービスの提供等を実施されており積極的にサービス向上への取組を実施された。 令和2年度は減収ではあったが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休業、営業時間短縮や外出自粛が要因と推察され、総合的には5年間を通して、安定的な経営をされた。 | | | | | | | | |

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名：山口市上村高齢者女性等活動促進センター

担当部 徳地総合支所

担当課 地域振興課

| | | | |
|--|--|---|---|
| 対象(誰、何に対して事業を行うのか) | | 手段(事務事業の内容、やり方、手順) | |
| ・市民 ・上村住民 ・上村高齢者女性等活動促進センター | | 上村高齢者女性等活動促進センターの管理運営を指定管理者に委託し、適正な維持管理と運営が行われました。 指定管理期間 令和2年度～令和6年度 指定管理団体 上村高齢者女性等活動促進センター運営委員会 開館時間 午前8時30分～午後10時 休館日 原則水曜日 | |
| 意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) | | | |
| 地元住民で構成される団体が指定管理者として運営を行うことで、住民主体の地域コミュニティが確立され、年齢・性別にとらわれない活発な交流が行われています。 | | | |
| 総合計画体系 | 政策 | 協働・行政 | |
| | 施策 | 地域活動と市民活動の推進 | |
| | 基本事業 | 活動しやすい環境の整備 | |
| 事業開始背景等 | | 合併時からの継続事業 徳地上村地域の高齢者及び女性の安定的で継続性の高い活動を基礎として地域の活性化を図り、地域社会の健全な発展に寄与するため、高齢者女性等活動促進センターを設置しました。 | |
| 昨年度の実績評価 | | | |
| 妥当性 | 上位成果への貢献度 | | 公的関与の妥当性 |
| | <input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業 | | <input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり |
| 有効性 | 成果状況 | | 人口減少や地理的要因により利用者数は減少傾向にありますが、今後も地域の活性化を図るための活動拠点として一定の役割を果たすものと考えます。 |
| | <input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 | | |
| | 成果向上余地 | | |
| | | <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし | |
| 効率性 | 類似事業との再編成 | | 地域毎の事業であり、地域での指定管理としているため、再編成は出来ません。 |
| | <input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし | | |
| | コスト削減余地 | | 指定管理者が自主事業を行い利用料を得ることで指定管理料の見直しを図ることができますが、地域内の人口減少や高齢化により現状では難しいと考えます。 |
| | | <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切 | |
| 改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など | | | |
| 地元団体である上村高齢者女性等活動促進センター運営委員会が指定管理者となり、効率的、弾力的な施設運営や利用者の安全確保など、協定書・仕様書等に基づいた適切な管理運営を行っています。 | | | |

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市上村高齢者女性等活動促進センター 指定管理者: 上村高齢者女性等活動促進センター運営委員会

指定期間: 令和2年度～令和6年度

| 評価項目 | | 評価コメント | | 評価 | | | | | 評点 | |
|------------------|-------------------------------------|-----------|--|--|---------------|------------|------------|--------------|------|---|
| | | | | 不履行多数 (1点) | 一部不履行 (2点) | 良好 (3点) | 優秀 (4点) | 特に優秀 (5点) | | |
| 施設の適正な管理運営の確保 | 管理運営の実施 | 運営業務 | ・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。 | 適正な利用許可がなされている。また、施設の施設も徹底されており、適正な施設運営が行われている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 維持管理業務 | ・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。 | 職員が定期的に清掃を行っている。保守点検については業者に委託し、適正な施設の維持管理に努めている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 再委託監督 | ・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。 | 点検・検査業務など、再委託者に対する監督は、適正に行われている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 人員配置職員研修 | ・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。 | 施設の規模、利用状況を考慮した人員配置がとられており、基本的な接遇、施設の設置目的に即した対応等が行われている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 地域連携 | ・清掃など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。 | 指定管理者が、地域団体の委員で構成されており、地域との連携が図られている。 | | | | ☆ | | 4 |
| | | 接客対応 | ・事故、苦情に対する対応は適切であったか。 | 事故・苦情はないが、報告があれば速やかに対応することとしている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | 平等利用、安全対策等、危機管理体制 | 平等利用 | ・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。 | 施設の設置目的を理解し、市民の平等利用に関する姿勢が保たれている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 個人情報保護 | ・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。 | 適正に管理・保管がされている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 安全対策 | ・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。 | 利用者の安全に配慮し、事前の事故防止に努めている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 危機管理 | ・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。 | 新型コロナウイルス感染症対策の徹底と予防措置を行うとともに非常時の連絡網が整備されており、適切な危機管理体制が整えられている。 | | | ☆ | | | 3 |
| 利用者のサービス向上への取り組み | 利用拡大 | 周知活動 | ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。 | 地域の情報、施設からのお知らせ等を掲示板に掲載し、適切な情報提供を行っている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | 利用者満足度 | サービス向上 | ・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。 | 利用者の意見を運営に反映させることにより、サービス向上に取り組んでいる。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 自主事業 | ・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。 | 地域団体と連携した夏祭りの開催、いきいき100歳体操の実施等、地域の活性化という目的に沿った事業を実施している。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 改善運動 | ・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。 | 利用者の意見を聴取し、対応できる部分は速やかに対応している。 | | | ☆ | | | 3 |
| 経営状況 | 収支等実績 | 収支計画との整合性 | ・収支状況は当初収支計画と整合しているか。 | 計画作成時には予測不能な新型コロナウイルス感染症対策のため発生した費用の増加などにより、当初計画との差異のある科目があるが、支出は必要最小限に抑えられ、収支は適切に管理されている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 安定経営 | ・安定的な経営が行われたか。 | 定期的な施設利用があり、安定的に運営が行われている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 経理状況 | ・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。 | 経理事務は、適切に処理されており、毎月の利用状況など担当部署へ適切に報告されている。 | | | ☆ | | | 3 |
| 評点合計 | | | | 標準 | | 51 | 加算 | 1 | 52 | |
| 審査結果 | 定期的に地域住民の利用があり、施設の管理運営も適正に行なわれています。 | | | 年度評価 | | | A | | | |
| 【各年度の評価】 | | | | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 総合評価 | |
| | | | | A | | | | | | |
| 総評 | — | | | 総合評価 | | | — | | | |

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名：山口市伊賀地高齢者女性等活動促進センター

担当部 徳地総合支所

担当課 地域振興課

| | | | |
|---|--|---|---|
| 対象(誰、何に対して事業を行うのか) | | 手段(事務事業の内容、やり方、手順) | |
| ・市民 ・伊賀地住民 ・伊賀地高齢者女性等活動促進センター | | 伊賀地高齢者女性等活動促進センターの管理運営を指定管理者に委託し、適正な維持管理と運営が行われました。 指定管理期間 令和2年度～令和6年度 指定管理団体 伊賀地高齢者女性等活動促進センター管理運営委員会 開館時間 午前8時30分～午後10時 休館日 原則水曜日 | |
| 意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) | | | |
| 地元住民で構成される団体が指定管理者として運営を行うことで、住民主体の地域コミュニティが確立され、年齢・性別にとられない活発な交流が行われています。 | | | |
| 総合計画体系 | 政策 | 協働・行政 | |
| | 施策 | 地域活動と市民活動の推進 | |
| | 基本事業 | 活動しやすい環境の整備 | |
| 事業開始背景等 | | 合併時からの継続事業 徳地伊賀地地域の高齢者及び女性の安定的で継続性の高い活動を基礎として地域の活性化を図り、地域社会の健全な発展に寄与するため、高齢者女性等活動促進センターを設置しました。 | |
| 昨年度の実績評価 | | | |
| 妥当性 | 上位成果への貢献度 | | 公的関与の妥当性 |
| | <input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業 | | <input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり |
| 有効性 | 成果状況 | | 人口減少や地理的要因により利用者数は減少傾向にありますが、今後も地域の活性化を図るための活動拠点として一定の役割を果たすものと考えます。 |
| | <input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 | | |
| | 成果向上余地 | | |
| | | <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし | |
| 効率性 | 類似事業との再編成 | | 地域毎の事業であり、地域での指定管理としているため、再編成は出来ません。 |
| | <input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし | | |
| | コスト削減余地 | | 指定管理者が自主事業を行い利用料を得ることで指定管理料の見直しを図ることができますが、地域内の人口減少や高齢化により現状では難しいと考えます。 |
| <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切 | | | |
| 改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など | | | |
| 地元団体である伊賀地高齢者女性等活動促進センター管理運営委員会が指定管理者となり、効率的、弾力的な施設運営や利用者の安全確保など、協定書・仕様書等に基づいた適切な管理運営を行っています。 | | | |

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市伊賀地高齢者女性等活動促進センター 指定管理者: 伊賀地高齢者女性等活動促進センター管理運営委員会

指定期間: 令和2年度～令和6年度

| 評価項目 | | 評価コメント | | 評価 | | | | | 評点 | |
|------------------|-------------------------------------|-----------|--|--|---------------|------------|------------|--------------|----|---|
| | | | | 不履行多数 (1点) | 一部不履行 (2点) | 良好 (3点) | 優秀 (4点) | 特に優秀 (5点) | | |
| 施設の適正な管理運営の確保 | 管理運営の実施 | 運営業務 | ・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。 | 適正な利用許可がなされている。また、施設の施設も徹底されており、適正な施設運営が行われている。利用の受付については、地元住民が利用申請をしやすいよう配慮されている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 維持管理業務 | ・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。 | 職員が定期的に清掃を行っている。保守点検については業者に委託し、適正な施設の維持管理に努めている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 再委託監督 | ・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。 | 点検・検査業務など、再委託者に対する監督は、適正に行われている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 人員配置職員研修 | ・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。 | 施設の規模、利用状況を考慮した人員配置がとられており、基本的な接遇、施設の設置目的に即した対応等が行われている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 地域連携 | ・清掃など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。 | 指定管理者が地域団体の委員で構成されており、地域との連携が図られている。 | | | | | ☆ | 4 |
| | | 接客対応 | ・事故、苦情に対する対応は適切であったか。 | 事故・苦情はないが、報告があれば速やかに対応することとしている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | 平等利用、安全対策等、危機管理体制 | 平等利用 | ・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。 | 施設の設置目的を理解し、市民の平等利用に関する姿勢が保たれている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 個人情報保護 | ・利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか。 | 適正に管理・保管がされている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 安全対策 | ・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。 | 利用者の安全に配慮し、事前の事故防止に努めている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 危機管理 | ・防火、防災対策など危機管理体制が適切であったか。 | 新型コロナウイルス感染症対策の徹底と予防措置を行うとともに非常時の連絡網が整備されており、適切な危機管理体制が整えられている。 | | | | | ☆ | 3 |
| 利用者のサービス向上への取り組み | 利用拡大 | 周知活動 | ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。 | 地域の情報、施設からのお知らせ等を掲示板に掲載し、適切な情報提供を行っている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | 利用者満足度 | サービス向上 | ・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。 | 利用者の意見を運営に反映させることにより、サービス向上に取り組んでいる。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 自主事業 | ・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。 | 地域団体と連携した夏祭りの開催、いきいき100歳体操の実施等、地域の活性化という目的に沿った事業を実施している。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 改善運動 | ・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。 | 利用者の意見を聴取し、対応できる部分は速やかに対応している。 | | | | | ☆ | 3 |
| 経営状況 | 収支等実績 | 収支計画との整合性 | ・収支状況は当初収支計画と整合しているか。 | 計画作成時には予測不能な新型コロナウイルス感染症対策のため発生した費用の増加などにより、当初計画との差異のある科目があるが、支出は必要最小限に抑えられ、収支は適切に管理されている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 安定経営 | ・安定的な経営が行われたか。 | 定期的な施設利用があり、安定的に運営が行われている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 経理状況 | ・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。 | 経理事務は適切に処理されており、毎月の利用状況など担当部署へ適切に報告されている。 | | | | | ☆ | 3 |
| 評点合計 | | | | 標準 | 51 | 加算 | 1 | 52 | | |
| 審査結果 | 定期的に地域住民の利用があり、施設の管理運営も適正に行なわれています。 | | | 年度評価 | | A | | | | |
| 【各年度の評価】 | | | | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | | |
| | | | | A | | | | | | |
| 総評 | — | | | 総合評価 | | — | | | | |

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名：山口市柚野地域活性化センター

担当部 徳地総合支所

担当課 地域振興課

| | | | |
|--|--|--|---|
| 対象(誰、何に対して事業を行うのか) | | 手段(事務事業の内容、やり方、手順) | |
| ・市民 ・柚野住民 ・柚野地域活性化センター | | 柚野地域活性化センターの管理運営を指定管理者に委託し、適正な維持管理と運営が行われました。 指定管理期間 令和2年度～令和6年度 指定管理者 柚野地域振興協議会 開館時間 午前8時30分から午後10時 休館日 原則水曜日 | |
| 意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) | | | |
| 地元住民で構成される団体が指定管理者として管理運営を行うことで、住民主体の地域コミュニティが確立され、地域づくりの意見交換や交流の場として利用されています。 | | | |
| 総合計画体系 | 政策 | 協働・行政 | |
| | 施策 | 地域活動と市民活動の推進 | |
| | 基本事業 | 活動しやすい環境の整備 | |
| 事業開始背景等 | | 合併時からの継続事業 地域住民の主体的な取組を基礎として、地域の活性化及び自立を図り、地域の健全な発展に寄与するため、柚野地域活性化センターを設置しました。 | |
| 昨年度の実績評価 | | | |
| 妥当性 | 上位成果への貢献度 | | 公的関与の妥当性 |
| | <input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業 | | <input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり |
| 有効性 | 成果状況 | | 人口減少や地理的要因により利用者数は減少傾向にありますが、今後も地域の活性化を図るための活動拠点として一定の役割を果たすものと考えます。 |
| | <input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 | | |
| | 成果向上余地 | | |
| | | <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし | |
| 効率性 | 類似事業との再編成 | | 地域毎の事業であり、地域での指定管理としているため、再編成は出来ません。 |
| | <input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし | | |
| | コスト削減余地 | | 指定管理者が自主事業を行い利用料を得ることで指定管理料の見直しを図ることができますが、地域内の人口減少や高齢化により現状では難しいと考えます。 |
| | | <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切 | |
| 改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など | | | |
| 地元団体である柚野地域振興協議会が指定管理者となり、効率的、弾力的な施設運営や利用者の安全確保など、協定書・仕様書等に基づいた適切な管理運営を行っています。 | | | |

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市袖野地域活性化センター 指定管理者: 袖野地域振興協議会

指定期間: 令和2年度～令和6年度

| 評価項目 | | 評価コメント | | 評価 | | | | | 評点 | |
|------------------|-------------------------------------|-----------|--|--|---------------|------------|------------|--------------|----|---|
| | | | | 不履行多数 (1点) | 一部不履行 (2点) | 良好 (3点) | 優秀 (4点) | 特に優秀 (5点) | | |
| 施設の適正な管理運営の確保 | 管理運営の実施 | 運營業務 | ・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。 | 適正な利用許可がなされている。また、施設の施設も徹底されており、適正な施設運営が行われている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 維持管理業務 | ・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。 | 職員が定期的に清掃を行っている。保守点検については業者に委託し、適正な施設の維持管理に努めている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 再委託監督 | ・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。 | 点検・検査業務など、再委託業者に対する監督は、適正に行われている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 人員配置職員研修 | ・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。 | 施設の規模、利用状況を考慮した人員配置がとられており、基本的な接遇、施設の設置目的に即した対応等が行われている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 地域連携 | ・清掃など、地域や関係団体等との連携や協力が適切に行われていたか。 | 指定管理者が、地域団体の委員により構成されており、地域との連携が図られている。 | | | | | ☆ | 4 |
| | | 接客対応 | ・事故、苦情に対する対応は適切であったか。 | 事故・苦情はないが、報告があれば速やかに対応することとしている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | 平等利用、安全対策等、危機管理体制 | 平等利用 | ・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。 | 施設の設置目的を理解し、市民の平等利用に関する姿勢が保たれている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 個人情報保護 | ・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。 | 事務室内の鍵のかかるロッカーにおいて、適正に管理・保管がされている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 安全対策 | ・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。 | 利用者の安全に配慮し、事前の事故防止に努めている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 危機管理 | ・防火、防災対策など危機管理体制が適切であったか。 | 新型コロナウイルス感染症対策の徹底と予防措置を行うとともに、隣接する加工所と協力して、消防署員立会の下避難訓練を実施するなど、非常時の対応や連絡体制がとられ、危機管理体制が整えられている。 | | | | | ☆ | 3 |
| 利用者のサービス向上への取り組み | 利用拡大 | 周知活動 | ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。 | 地域の情報、施設からのお知らせ等を掲示板に掲載し、適切な情報提供を行っている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | 利用者満足度 | サービス向上 | ・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。 | 利用者の意見を運営に反映させることにより、サービス向上に取り組んでいる。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 自主事業 | ・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。 | 地域団体と連携した夏祭りの開催、いきいき100歳体操の実施等、地域の活性化という目的に沿った事業を実施している。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 改善運動 | ・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。 | 利用者の意見を聴取し、対応できる部分は速やかに対応している。 | | | | | ☆ | 3 |
| 経営状況 | 収支等実績 | 収支計画との整合性 | ・収支状況は当初収支計画と整合しているか。 | 計画作成時には予測不能な新型コロナウイルス感染症対策のため発生した費用の増加などにより、当初計画との差異のある科目があるが、支出は必要最小限に抑えられ、収支は適切に管理されている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 安定経営 | ・安定的な経営が行われたか。 | 定期的な施設利用があり、安定的に運営が行われている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 経理状況 | ・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。 | 経理事務は適切に処理されており、毎月の利用状況など担当部署へ適切に報告されている。 | | | | | ☆ | 3 |
| 評点合計 | | | | 標準 | 51 | 加算 | 1 | 52 | | |
| 審査結果 | 定期的に地域住民の利用があり、施設の管理運営も適正に行なわれています。 | | | 年度評価 | | A | | | | |
| 【各年度の評価】 | | | | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | | |
| | | | | A | | | | | | |
| 総評 | — | | | 総合評価 | | — | | | | |

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名：山口市島地温泉ふれあいセンター

担当部 徳地総合支所

担当課 地域振興課

| | | | |
|--|--|---|---|
| 対象(誰、何に対して事業を行うのか) | | 手段(事務事業の内容、やり方、手順) | |
| ・市民 ・島地地区住民 ・島地温泉ふれあいセンター | | 島地温泉ふれあいセンターの管理運営を指定管理者に委託し、適正な維持管理と運営が行われました。 指定管理期間 平成31年度～令和5年度 指定管理者 島地温泉ふれあいセンター運営協議会 開館時間 午前10時～午後8時 休館日 原則水曜日、年末年始 | |
| 意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) | | | |
| 地元住民で構成される団体が指定管理者として運営を行うことで、住民主体の地域コミュニティが確立され、交流の場として利用されています。 また、温泉施設、朝市、飲食・販売スペースともに市内外から利用があり、観光施設としても認知されています。 | | | |
| 総合計画体系 | 政策 | 協働・行政 | |
| | 施策 | 地域活動と市民活動の推進 | |
| | 基本事業 | 活動しやすい環境の整備 | |
| 事業開始背景等 | | 徳地地域の旧村5地区(出雲・八坂・柚野・島地・串)において、交通・福祉・教育・産業等の拠点となる拠点施設を整備し、地域コミュニティの活性化と地域社会システムの再構築を図ります。 | |
| 昨年度の実績評価 | | | |
| 妥当性 | 上位成果への貢献度 | | 公的関与の妥当性 |
| | <input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業 | | <input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり |
| 有効性 | 成果状況 | | 温泉については、新型コロナ感染拡大防止対策として1回あたりの入浴人数を制限したため、利用者は減少しているが、施設全体の利用者数は概ね横ばいになっており、今後も地域コミュニティの活動拠点としての役割を果たすものと考えます。 |
| | <input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 | | |
| | 成果向上余地 | | |
| | | <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし | |
| 効率性 | 類似事業との再編成 | | 当該地域における類似の事業はありません。 |
| | <input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし | | |
| | コスト削減余地 | | <input checked="" type="checkbox"/> 効率化余地あり <input type="checkbox"/> 現状手段が適切 |
| 改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など | | | |
| 地元団体である島地温泉ふれあいセンター運営協議会が指定管理者となり、効率的、弾力的な施設運営や利用者の安全確保など、協定書・仕様書等に基づいた適切な管理運営を行っています。 | | | |

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市島地温泉ふれあいセンター 指定管理者: 島地温泉ふれあいセンター運営協議会

指定期間: 平成31年度～令和5年度

| 評価項目 | | 評価コメント | | 評価 | | | | | 評点 | |
|------------------|---|-----------|--|---|---------------|------------|------------|--------------|----|---|
| | | | | 不履行多数 (1点) | 一部不履行 (2点) | 良好 (3点) | 優秀 (4点) | 特に優秀 (5点) | | |
| 施設の適正な管理運営の確保 | 管理運営の実施 | 運営業務 | ・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。 | 適正な利用許可がなされている。また、施設の施設も徹底されており、適正な施設運営が行われている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 維持管理業務 | ・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。 | 職員が定期的に巡回して清掃を行い、点検については業者に委託し適正な施設の維持管理に努めている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 再委託監督 | ・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。 | 再委託業者に対して、適正な監督がなされている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 人員配置職員研修 | ・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。 | 施設の規模、利用状況に即した人員配置とともに、基本的な接遇、施設の設置目的に即した対応等、安定した施設管理運営に向けた職員間の共通認識を図る取り組みがなされている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 地域連携 | ・清掃など、地域や関係団体等との連携や協力が適切に行われていたか。 | 地域団体の委員で構成されており、地域との連携が図られている。また、地元の子どもたちを対象にした無料体験学習の実施や、地域住民と連携した朝市を開催する等、地域の交流の場づくりに努めている。 | | | | | ☆ | 4 |
| | | 接客対応 | ・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。 | 苦情を受けた際は、内容や対応について報告書をまとめ、職員内で情報を共有できるようにしている他、市に対しても迅速な報告を行っている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | 平等利用、安全対策等、危機管理体制 | 平等利用 | ・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。 | 施設の設置目的を理解し、市民の平等利用に関する姿勢が保たれている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 個人情報保護 | ・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。 | 個人情報に関する関係書類を鍵のかかるロッカーに保管し、適切に管理している。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 安全対策 | ・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。 | 利用者の安全確保のため、定期的に施設内を巡回し、事故の事前防止に努めている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 危機管理 | ・防災、防災対策など危機管理体制が適切であったか。 | チェックシートの作成、1時間ごとに施設を巡回、緊急連絡網の作成、新型コロナウイルス感染症対策の徹底と予防措置を行うなど適切な危機管理体制づくりに努めている。 | | | | | ☆ | 3 |
| 利用者のサービス向上への取り組み | 利用拡大 | 周知活動 | ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。 | 地域のイベントに参加することと合わせ、マスメディア、関係団体のチラシ等を活用し、広報活動を積極的に行っている。 | | | | | ☆ | 4 |
| | 利用者満足度 | サービス向上 | ・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。 | 温泉利用者や朝市参加者にアンケートを募り、ニーズ把握やサービス向上に尽力している。 | | | | | ☆ | 4 |
| | | 自主事業 | ・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。 | 朝市の開催等、地域活性化・地域の交流拠点という目的に沿った自主事業を実施している。 | | | | | ☆ | 4 |
| | | 改善運動 | ・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。 | 温泉利用者へのアンケートや意見箱を設置するなど、利用者の意見を積極的に収集し、管理運営に反映している。 | | | | | ☆ | 4 |
| 経営状況 | 収支等実績 | 収支確保 | ・収入増加のための取組がなされたか。 | 計画作成時には予測不能な新型コロナウイルス感染症対策のため発生した費用の増加などにより、当初計画との差異のある科目があるが、支出は必要最小限に抑えられ、収支は適切に管理されている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 収支計画との整合性 | ・収支状況は当初収支計画と整合しているか。 | 年度当初に提出された収支予算書に基づき、支出等が適切に行われている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 安定経営 | ・安定的な経営が行われたか。 | 指定管理料と施設利用収入によって適切に運営を行っている。 | | | | | ☆ | 3 |
| | | 経理状況 | ・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。 | 毎月利用者数の報告及び収支の報告があり、経理事務は適正に処理されている。 | | | | | ☆ | 3 |
| 評点合計 | | | | 標準 | 54 | 加算 | 5 | 59 | | |
| 審査結果 | 自主事業の拡充や各種イベントへの積極的な参加、マスメディアを活用した地域内外の幅広い世代に対する広報活動を展開されており、引き続き安定した利用者数が見込まれます。また、温泉を活用した地域間の交流拠点や地域の生活拠点として、今後更なる役割を担うことが期待できます。 | | | 年度評価 | | A | | | | |
| 【各年度の評価】 | | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 総合評価 | | | |
| | | A | A | | | | | | | |
| 総評 | - | | | - | | | - | | | |

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名：山口市徳地三谷交流センター

担当部 徳地総合支所

担当課 農林課

| | | | |
|--|--|--|--|
| 対象(誰、何に対して事業を行うのか) | | 手段(事務事業の内容、やり方、手順) | |
| 地域農家及び住民 三谷交流センター利用者 | | 【施設概要】 ・平成16年にオープンし、交流室、調理等体験交流室があります。 【管理内容】 ・指定管理者へ管理運営業務を委任し、助言指導を行いました。 【指定管理者が実施する主な業務】 ・都市住民との交流事業に関するを行いました。 ・地域の集落間の連携事業に関するを行いました。 ・施設の清掃、点検、修繕等の維持管理を行いました。 | |
| 意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 地域農家及び住民と都市住民との交流により地域が活性化します。 利用者の農業に対する理解が促進されます。 | | | |
| 総合計画体系 | 政策 | 市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち | |
| | 施策 | 農業がもたらす多彩な恵みを生かしたまち | |
| | 基本事業 | 緑と活力あふれる農村の振興 | |
| 事業開始背景等 | 三谷地域は過疎化・高齢化が進行しており、都市農村交流の拠点として平成16年に整備しました。 | | |
| 昨年度の実績評価 | | | |
| 妥当性 | 上位成果への貢献度 | 公的関与の妥当性 | |
| | <input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業 | <input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | |
| 有効性 | 成果状況 | 一年を通じた多彩なイベントの開催により、地域内外の交流拠点としての機能を果たしています。 | |
| | <input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下・悪化 | | |
| | 成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし | | |
| 効率性 | 類似事業との再編成 | 市内に同様の施設がありますが、都市農村交流の拠点として管理運営をしており、統合等は困難です。 | |
| | <input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし | | |
| | コスト削減余地 | コストを削減する新たな方法はありませんが、今後も指定管理者と協議しながら、経費削減に努めます。 | |
| | <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切 | | |
| 改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など | | | |
| 維持管理費用を抑えた中で、現在の状態を維持していくことが大切です。三谷交流センターは地域コミュニティの中核施設としての利用のほか、地域住民と都市住民との交流促進を担う施設ですが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で地域外の住民との交流イベントは全て中止し、地域内の住民のみの利用にとどめています。指定管理者である三谷地域づくり協議会は、地域の高齢化に伴い人材が不足していることから、施設管理主体となる新たな担い手の発掘が必要です。 | | | |

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市徳地三谷交流センター 指定管理者: 三谷地域づくり協議会

指定期間: 令和元年度～令和5年度

| 評価項目 | | | 評価コメント | | 評価 | | | | | 評点 |
|------------------|--|--------------|--|--|-------------------|-------------------|------------|------------|------------------|----|
| | | | | | 不履行 多数 (1点) | 一部不 履行 (2点) | 良好 (3点) | 優秀 (4点) | 特に 優秀 (5点) | |
| 施設の適正な管理運営の確保 | 管理運営の実施 | 運営業務 | ・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。 | 施設の利用許可事務、修繕等、適正な施設の運営が行われた。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 維持管理業務 | ・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。 | 定期的に清掃が行われており、使用しないときも2週間ごとに行われている。また、必要な点検は適正に行われている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 人員配置 職員研修 | ・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。 | 役員間で役割分担を行いながら、適正に事務処理が行われている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 地域連携 | ・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。 | 地域団体や地域住民に対して貸館業務を行うことにより、地域住民の交流や、地域住民の健康に向けた利用がなされ、地域間での協働、連携が適切に行われている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 接客対応 | ・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。 | 苦情はなかった。また、苦情があった際の体制も整備されている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 労働環境 | ・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。 | 従業員は少ないが、通常の管理は地元住民がボランティアとして取り組んでいる。 | | | ☆ | | | 3 |
| | 平等利用、安全対策等、危機管理体制 | 平等利用 | ・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。 | 施設の利用にあたっては、条例、規則等を遵守し、適切に対応されている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 個人情報保護 | ・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。 | 協定に基づき個人情報は、事務担当者が適切に保管されている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 安全対策 | ・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。 | 定期的な施設周辺の点検をしており、適切に対応されている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 危機管理 | ・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。 | 非常時の連絡網も整備されており、適切な安全管理体制がとられている。 令和2年度においては、行政と連携し台風による避難場所として利用され、地域住民を災害より守る為の対策が図られた。 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、利用者には手指消毒やマスクの着用等を協力していただき、施設の定期的なアルコール消毒についても徹底して行われている。 | | | ☆ | | | 3 |
| 利用者のサービス向上への取り組み | 利用拡大 | 周知活動 | ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。 | 活動について、JAの広報誌や農業新聞等の媒体を利用し広く周知を図っている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | 利用者満足度 | サービス向上 | ・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。 | 歩こう会、農業体験等のイベントについては、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止したが、今後の利用向上に向け、イベント実施に向けた検討がなされている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 自主事業 | ・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点もあり、主催事業等については特に実施されていないが、地域団体等に貸館業務を行うことで、地域住民等の交流や地域の活性化が図られている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 改善運動 | ・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。 | 利用者の意見を反映され、運営が行われている。また地元利用者間で協議し、要望、改善などを図られている。 | | | ☆ | | | 3 |
| 経営状況 | 収支等実績 | 収入確保 | ・収入増加のための取組がなされたか。 | 貸館を行うなど安定した自主財源の確保に努めている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 収支計画との整合性 | ・収支状況は、当初収支計画と整合しているか。 | 施設管理のために適正な支出が行われており、収支状況も順調で、計画的に処理がされている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 安定経営 | ・安定的な経営が行われたか。 | 安定的な運営がなされている。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 経理状況 | ・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。 | 複数名の監事による監査が行われており、適正に処理されている。 | | | ☆ | | | 3 |
| 評点合計 | | | | | 標準 | | 54 | 加算 | | 54 |
| 審査結果 | 維持管理費用を抑えつつ、現在の状態を維持していくことが大切です。地域コミュニティの中核施設としての利用のほか、地域内外の住民の交流促進を担う施設ですが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で、地域外の住民との交流イベントは全て中止し、地域内の住民のみの利用にとどめています。 新型コロナウイルス感染症拡大防止を図る為、利用者には手指消毒やマスクの着用などに協力をいただき、定期的なアルコール消毒を実施していることが見受けられました。 地域の高齢化に伴い指定管理者である三谷地域づくり協議会は、人材が不足していることから新たな担い手の発掘が必要です。 | | | 年度評価 | | A | | | | |
| 【各年度の評価】 | | | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 総合評価 | | |
| | | | A | A | | | | | | |
| 総評 | — | | | — | | | — | | | |

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名：山口市徳地高齢者・若者活性化センター

担当部 徳地総合支所

担当課 農林課

| | | | |
|---|--|---|--|
| 対象(誰、何に対して事業を行うのか) | | 手段(事務事業の内容、やり方、手順) | |
| 地域農家 高齢者・若者活性化センター利用者 | | 【施設概要】高齢者・若者活性化センター(南大門) ・平成3年11月オープンです。 ・展示販売所、研修室等があります。 【管理内容】 ・指定管理者へ管理運営業務を委任し、指導助言を行いました。 【指定管理者が実施する主な業務】 ・特産品等の展示販売に関するを行いました。 ・都市・農村交流、イベント開催・参加、高齢者の生きがい創出・社会参加に関するを行います。 ・施設の清掃、点検、修繕等の維持管理を行いました。 【施設の改修】 令和2年度に1階展示販売所のリニューアルを行いました。 | |
| 意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) | | 地域農産物の消費が拡大します。 地域農家の所得向上に寄与します。 多くの人が高齢者・若者活性化センターを訪れるようになります。 | |
| 総合計画体系 | 政策 | 市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち | |
| | 施策 | 農業がもたらす多彩な恵みを生かしたまち | |
| | 基本事業 | 緑と活力あふれる農村の振興 | |
| 事業開始背景等 | 徳地地域の豊富な農林水産資源ならびに高齢者に蓄積された体験及び知識を活用した特産品の振興及び若者への伝承により、一次産業を中心とした地域活性化を図ることを目的として設置しました。 | | |
| 昨年度の実績評価 | | | |
| 妥当性 | 上位成果への貢献度 | 公的関与の妥当性 | |
| | <input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業 | <input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | |
| 有効性 | 成果状況 | 現在においても、都市農村の交流拠点としての機能を十分に発揮しておりますが、今後は、季節ごとに開催されるイベント企画の工夫や販売品目の幅を広げることで交流拠点機能の向上を図れます。改修期間中については、交流拠点機能を継続するため、仮設店舗による営業を行いました。 | |
| | <input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 | | |
| | 成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし | | |
| 効率性 | 類似事業との再編成 | 市内には同様の施設がありますが、各地域の拠点として地元に着した管理運営が行われており、統合等は困難です。 | |
| | <input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし | | |
| コスト削減余地 | <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切 | コストを削減する新たな方法はありませんが、今後も指定管理者と協議しながら、経費削減に努めます。 | |
| | | | |
| 改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など | | | |
| <p>指定管理者である徳地ふるさと資源活用協会は、維持管理費用を抑えた中で一定の成果をあげており、現在の状態を維持していくことが大切と考えています。なお、SNSを活用した情報発信を積極的に実施されており、地域の農業者等の生産意欲向上や社会参加、地域住民と都市住民の交流促進にも貢献しています。また、令和2年度に販売スペースの改装を実施し、改装期間中は仮設店舗で営業を行ったため、仮設での縮小営業や新型コロナウイルス感染拡大の影響で来場者は減少しましたが、SNSやTV放映など積極的にPRを行い、感染防止に配慮した企画・展示を実施したことで、販売額はほぼ前年度までの額を維持しています。さらに、手指消毒の徹底、換気、マスク着用の注意喚起、レジ待ちの際の間隔確保など、感染防止に配慮した、企画・展示を行い適切な感染防止対策を講じています。</p> | | | |

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市徳地高齢者・若者活性化センター 指定管理者: 徳地ふるさと資源活用協会

指定期間: 令和元年度～令和5年度

| 評価項目 | | 評価コメント | | 評価 | | | | | 評点 | | |
|---|--|--------------|--|---|---|------------|------------|--------------|----|---|---|
| | | | | 不履行多数 (1点) | 一部不履行 (2点) | 良好 (3点) | 優秀 (4点) | 特に優秀 (5点) | | | |
| 施設 の 適 正 な 管 理 運 営 の 確 保 | 管理運営の実施 | 運營業務 | ・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。 | 施設の点検を定期的に行い、異常箇所を発見次第、迅速に修繕等を行っており、適正な施設の運営が行われている。 | | | ☆ | | | 3 | |
| | | 維持管理業務 | ・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。 | 毎日のトイレ清掃をはじめ、施設の美化が適正に行われている。また、備品等も良好な状態に管理されている。 | | | ☆ | | | 3 | |
| | | 再委託監督 | ・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。 | 専門的知識が必要な保守点検及び年次の定期清掃のみ委託しており、適正な監督がされている。 | | | ☆ | | | 3 | |
| | | 人員配置 職員研修 | ・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。 | 平日と休日の利用者数の違いを考慮した体制をとることで効率的な人員配置がされており、また定期的なミーティング等を通じて職員の啓発が行われている。 | | | ☆ | | | 3 | |
| | | 地域連携 | ・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。 | 地元小学校の社会見学受け入れなど地域や関係団体との連携や協働が適切に行われている。 | | | ☆ | | | 3 | |
| | | 接客対応 | ・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。 | 苦情はなかったが、迅速に対応できる体制はとられている。 | | | ☆ | | | 3 | |
| | | 労働環境 | ・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。 | 労働基準法や労働安全衛生法などの労働関係法令は遵守されている。 | | | ☆ | | | 3 | |
| | 平等利用、安全対策等、危機管理体制 | 平等利用 | ・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。 | 施設の利用にあたっては、条例、規則等を遵守し、適切に対応されている。 | | | ☆ | | | 3 | |
| | | 個人情報保護 | ・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。 | 個人情報第三者の目に触れることの無いよう処理し、保管する際は施設施設で適切に保管されている。 | | | ☆ | | | 3 | |
| | | 安全対策 | ・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。 | 避難訓練を定期的に実施しているほか、安全確保のため施設内外の点検がされている。 | | | ☆ | | | 3 | |
| | | 危機管理 | ・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。 | 営業終了後は、資材や運搬具を店舗内に収容し、夜間については、機械警備を導入しており、適切な防犯対策が講じられている。 | | | ☆ | | | 3 | |
| | 利用者のサービス向上への取り組み | 利用拡大 | 周知活動 | ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。 | SNS・テレビ・ラジオ・新聞等を活用した広報活動が行われており、地域農産物等の効果的なアピールに努められている。 | | | ☆ | | | 4 |
| | | 利用者満足度 | サービス向上 | ・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。 | POP制作や調理レシピの配布など商品の魅力を伝える取組や季節の催し実施などサービス向上に努めている。また、多くの展示品を見やすく展示する工夫を日常的に行っている。 | | | ☆ | | | 4 |
| | | | 自主事業 | ・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。 | 新型コロナウイルス感染拡大の影響で大型イベントが中止される中、感染防止に配慮した、企画・展示を実施された。 | | | ☆ | | | 3 |
| 改善運動 | | | ・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。 | 食べ方の分からない農産品の調理法など商品を購入された方にレシピを配るなど利用者の声を反映している。 | | | ☆ | | | 3 | |
| 経営状況 | 収支等実績 | 収入確保 | ・収入増加のための取組がなされたか。 | 利用者の安心・安全というニーズに応えるため、取り扱い商品は全て地元産で揃えられている。また、生産者に呼びかけ野菜などの取り扱い数を増やす努力がされている。 | | | ☆ | | | 3 | |
| | | 収支計画との整合性 | ・収支状況は、当初収支計画と整合しているか。 | おおむね順調である。 | | | ☆ | | | 3 | |
| | | 安定経営 | ・安定的な経営が行われたか。 | エールやまぐちプレミアム商品券やGOTOトラベルクーポンへの対応などコロナ対策に即応し利用者の利便性を図り、販売収入の安定を図った。 | | | ☆ | | | 3 | |
| | | 経理状況 | ・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。 | 複数名の監事による監査が行われており、適正に処理されている。 | | | ☆ | | | 3 | |
| 評点合計 | | | | 標準 | | 57 | 加算 | 2 | 59 | | |
| 審査結果 | 維持管理費用を抑えた中で、成果をあげていることから、現在の状態を維持していくことが重要です。 指定管理者である徳地ふるさと資源活用協会は、SNS、テレビ、ラジオ、新聞等各種メディアを活用し広く情報発信に努めており、地元農産品の消費拡大による生産者の意欲向上や社会参加、地域住民と都市住民の交流促進に貢献しています。 | | | 年度評価 | | A | | | | | |
| 【各年度の評価】 | | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 総合評価 | | | | |
| | | A | A | | | | | | | | |
| 総評 | - | | | 総合評価 | | - | | | | | |

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名：山口市柚野農産加工販売所

担当部 徳地総合支所

担当課 農林課

| | | | |
|---|--|--|--|
| 対象(誰、何に対して事業を行うのか) | | 手段(事務事業の内容、やり方、手順) | |
| 地域農家 柚野農産加工販売所 利用者 | | 【施設の概要】 ・地元農産物を使った加工品の開発、製造及び地元農林産物の販売を目的として平成17年6月25日に開設しました。 【管理内容】 ・指定管理者へ管理運営を委任し、指導助言を行いました。 【指定管理者の主な業務】 ・農林産物の加工や販売に関するを行いました。 ・都市・農村交流イベント等を行いました。 ・施設の清掃、点検、修繕等を行いました。 ・主に豆腐、もち、漬物、惣菜、蕎麦を加工、販売しました。 | |
| 意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 地域農産物の消費が拡大します。 地域農家の所得向上に寄与します。 多くの人が加工販売所を訪れるようになります。 | | | |
| 総合計画体系 | 政策 | 市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち | |
| | 施策 | 農業がもたらす多彩な恵みを生かしたまち | |
| | 基本事業 | 緑と活力あふれる農村の振興 | |
| 事業開始背景等 | 地元農産物の加工販売を目的として施設が整備され、当初の目的を果たすため、施設の維持管理が必要です。 | | |
| 昨年度の実績評価 | | | |
| 妥当性 | 上位成果への貢献度 | 公的関与の妥当性 | |
| | <input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業 | <input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | |
| 有効性 | 成果状況 | 加工食品の豆腐は人気商品であり、これに続く商品開発や現行商品の販売方法を工夫するなどして、売上増加の余地がある。 また、ルーラルフェスタに代表される都市農村交流イベントへの積極的な参加により、成果向上の余地がある。 | |
| | <input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 | | |
| | 成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし | | |
| 効率性 | 類似事業との再編成 | 市内に同様の施設はありますが、地域振興の拠点として管理運営が行われており、統合等は困難です。 | |
| | <input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし | | |
| | コスト削減余地 | 特にありません。 | |
| | <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切 | | |
| 改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など | | | |
| 特産品の出品者である地域住民の生きがい創出、地域コミュニティの拠点として機能していますが、地域の過疎化・高齢化が著しく出荷品の減少や後継者不足に直面しており、開設当初から比べると来場者が減少傾向にあります。 現在、近隣の小・中学校の学校給食の食材に豆腐の提供を実施していますが、人気商品である豆腐に続く加工品の開発や現行商品の販売販路の工夫などにより収入増加に努めるとともに、地域の行事、都市農村交流イベントに積極的に参加し、利用者増や地域の活性化を図るとともに、後継者の育成にも取り組んでいくことが必要不可欠です。 | | | |

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市袖野農産加工販売所

指定管理者: 山里農産加工販売所運営協議会

指定期間: 令和元年度～令和3年度

| 評価項目 | | 評価コメント | | 評価 | | | | | 評点 | | |
|------------------|--|-----------|--|---|---------------|------------|------------|--------------|------|----|---|
| | | | | 不履行多数 (1点) | 一部不履行 (2点) | 良好 (3点) | 優秀 (4点) | 特に優秀 (5点) | | | |
| 施設の適正な管理運営の確保 | 管理運営の実施 | 運營業務 | ・受付事務、利用許可、貸館、修繕、鍵施設など、適正な施設の運営が行われたか。 | 適切な受付対応や定期的な施設点検を行い、異常箇所を発見次第、速やかに修繕等を行っており、適正な施設の管理運営が行われた。入退室時の施設は使用者が行っている。 | | | | ☆ | | | 3 |
| | | 維持管理業務 | ・清掃、保守点検など、施設の維持管理及び備品管理は適正に行われたか。 | 定期的な清掃をはじめ、施設の美化を的確に行っている。また、施設、機器等の維持管理についても、適正に行われた。 | | | | ☆ | | | 3 |
| | | 人員配置職員研修 | ・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。 | 開館時に施設利用者に対応できる人員配置がされており、また、加工販売所の職員間の指導やミーティングも行われている。 | | | | ☆ | | | 3 |
| | | 地域連携 | ・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。 | 地域の祭りやルーラル315・376フェスタなどの行事については令和2年度は中止となったが、豆腐等を生産し地域の学校給食用に納品する等、地域との連携を行うことが出来た。 | | | | | ☆ | | 4 |
| | | 接客対応 | ・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。 | 特段の苦情はなかったが、あった際の体制も整備されている。適切な接遇を行い、利用者に対する案内、説明も適切に行われた。 | | | | ☆ | | | 3 |
| | | 労働環境 | ・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。 | 労働者の健康と安全について、従事する作業を適切に管理するように努めて、労働関係法令は遵守されている。 | | | | ☆ | | | 3 |
| | 平等利用、安全対策等、危機管理体制 | 平等利用 | ・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。 | 施設の利用にあたっては、条例、規則等を遵守し、適切に対応されている。 | | | | ☆ | | | 3 |
| | | 個人情報保護 | ・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。 | 事務室内のみで保管し、関係者以外の目に触れないように配慮している。 | | | | ☆ | | | 3 |
| | | 安全対策 | ・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。 | 適切な施設の設備点検、施設周辺の点検を行っている。また、水質検査、井戸の塩素濃度測定も行われている。 | | | | ☆ | | | 3 |
| | | 危機管理 | ・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。 | 利用前、利用後に施設の設備の点検を行っているとともに、定期的に施設周辺の点検をしており、適切であった。新型コロナウイルス感染拡大防止の為に、手指消毒やマスク着用等を利用者に協力していただき、施設の定期的なアルコール消毒についても徹底して行われている。 | | | | ☆ | | | 3 |
| 利用者のサービス向上への取り組み | 利用拡大 | 周知活動 | ・施設目的の達成のため、効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。 | 袖野地域の農産物のPR活動として、例年参加しているルーラル315・376フェスタが、令和2年度については中止となったが、豆腐等を生産し地域の学校給食用に納品する等、地域との連携を行うことが出来た。 | | | | | ☆ | | 4 |
| | | サービス向上 | ・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。 | 冬場に積雪、凍結が多い地域であるため開館できないが、それ以外の時期については利用促進がなされた。 | | | | ☆ | | | 3 |
| | 利用者満足度 | 自主事業 | ・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。 | 地域の学校給食用の食材として生産した豆腐等を納品することで、地域住民に特産品を提供し、特産品の消費活動を実施し、自主事業としての収益増加に向けた取り組みがなされている。 | | | | ☆ | | | 3 |
| | | 改善運動 | ・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。 | アンケート回収箱を設置し、出荷者や利用者の意見を反映し、管理運営が行われている。 | | | | ☆ | | | 3 |
| 経営状況 | 収支等実績 | 収入確保 | ・収入増加のための取組がなされたか。 | 人気商品であるゆず豆腐、かき餅、その他農産物加工商品の生産により、収入増の取組がなされている。 | | | | ☆ | | | 3 |
| | | 収支計画との整合性 | ・収支状況は、当初収支計画と整合しているか。 | 事業計画書と収支決算書の整合性は、おおむね順調である。例年開催されていた行事が中止されたり、新型コロナウイルス感染拡大防止の為に休館されたこともあったが、支出を必要最小限に抑え、収入は適正に管理されている。 | | | | ☆ | | | 3 |
| | | 安定経営 | ・安定的な経営が行われたか。 | 光熱費や燃料費の経費節減により安定的な経営が行われている。 | | | | ☆ | | | 3 |
| | | 経理状況 | ・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。 | 複数名による監事の会計監査が行われており、適正に処理された。 | | | | ☆ | | | 3 |
| 評点合計 | | | | 標準 | | 54 | 加算 | 2 | | 56 | |
| 審査結果 | 山里農産加工販売所運営協議会は、地域特産の加工品、米、野菜、肉等の販売を通じ、地域住民の生きがい創出や都市住民との交流拠点として地域振興に貢献しています。また、維持管理経費などの経費節減に努め、安定的な運営を行うとともに、地域団体や周辺施設との連携により、朝市の開催、特産品のPR活動、学校連携等を積極的に展開しています。新型コロナウイルス感染拡大防止を図る為、利用者には手指消毒やマスクの着用などに協力をいただき、定期的なアルコール消毒を実施していることが見受けられました。 | | | 年度評価 | | | | A | | | |
| 【各年度の評価】 | | | | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 総合評価 | | |
| | | | | A | A | — | — | | | | |
| 総評 | — | | | 総合評価 | | | | — | | | |

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名：山口市徳地新規就農者技術習得支援施設

担当部 徳地総合支所

担当課 農林課

| | | | |
|---|--|--|---|
| 対象(誰、何に対して事業を行うのか) | | 手段(事務事業の内容、やり方、手順) | |
| 山口市徳地新規就農者技術習得支援施設 山口市徳地農業公社 新規就農希望者 | | 当該施設では、新規就農希望者(認定就農者)を対象に栽培に必要な技術等を習得するための実践的な栽培研修を行います。管理運営については、山口市徳地農業公社を指定管理者として行いました。 【施設概要】 敷地面積: 8,014㎡ 管理棟 木造2階建 栽培ハウス(イチゴ) 2棟 栽培ハウス(ホウレン草) 2棟 育苗ハウス 2棟 栽培ほ場 2,000㎡ | |
| 意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) | | | |
| 当該施設で研修を行った新規就農者が地域の中心的担い手農家として活躍しています。 | | | |
| 総合計画体系 | 政策 | 市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち | |
| | 施策 | 農業がもたらす多彩な恵みを生かしたまち | |
| | 基本事業 | 多様な担い手の育成・支援 | |
| 事業開始背景等 | | 若い農業者の確保・育成と定住を目的に平成12年に設置した施設であり、目的達成のため施設の適切な管理・運営を図る必要があります。 | |
| 昨年度の実績評価 | | | |
| 妥当性 | 上位成果への貢献度 | | 公的関与の妥当性 |
| | <input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業 | | <input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり |
| 有効性 | 成果状況 | | 施設の設置目的に従い新規就農を希望する研修生を継続して受け入れ、研修終了後就農させることで、新規就農者の増加を図ることができます。 |
| | <input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下・悪化 | | |
| | 成果向上余地 | | |
| <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし | | | |
| 効率性 | 類似事業との再編成 | | 対象及び目的等が限定されており、類似の事業はありません。 |
| | <input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし | | |
| | コスト削減余地 | | ありません。 |
| <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切 | | | |
| 改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など | | | |
| <p>中山間地域における人口減少、高齢化の進展という現状を踏まえ、関係機関と連携して、農地の保全管理、担い手の育成に取り組んでおり、当該施設で研修を行った研修生が、現在、地域の中心的担い手として活躍しています。</p> <p>しかしながら、農業を取り巻く環境の変化に伴い、新規就農希望者が農業経営を開始するために必要な栽培技術や知識を習得する方法もSNSの活用など多様化しており、また研修作物も限定されることから研修生の確保が困難となってきています。加えて新型コロナウイルス感染拡大の影響により、首都圏での新規研修生の募集機会が制限されており、直接研修内容等を説明できない状況ですが、事前に収録した卒業研修生による就農体験談やほ場での作業の様子など魅力あふれるレポート等を織り交ぜた内容を新たな募集の方法としてインターネットを活用したりリモート相談会などに盛り込むことで、研修生の確保に取り組んでいます。</p> <p>今後、施設整備、農場事業の対象や意図を見直し、施設の管理運営内容を検討する必要があります。</p> | | | |

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市徳地新規就農者技術習得支援施設 指定管理者: 公益社団法人山口市徳地農業公社

指定期間: 令和元年度～令和5年度

| 評価項目 | | 評価コメント | 評価 | | | | | 評点 | |
|---------------|---|-----------|---------------------------------------|--------------------------------------|------------|------------|--------------|------|---|
| | | | 不履行多数 (1点) | 一部不履行 (2点) | 良好 (3点) | 優秀 (4点) | 特に優秀 (5点) | | |
| 施設の適正な管理運営の確保 | 管理運営の実施 | 運営業務 | ・受付事務、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 維持管理業務 | ・清掃、保守点検など、施設の維持管理及び備品管理は適正に行われたか。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 人員配置職員研修 | ・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 地域連携 | ・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われたか。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 労働環境 | ・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。 | | | ☆ | | | 3 |
| | 平等利用、安全対策等、危機管理体制 | 平等利用 | ・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 個人情報保護 | ・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。 | | | | ☆ | | 4 |
| | | 安全対策 | ・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 危機管理 | ・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。 | | | ☆ | | | 3 |
| | 利用者のサービス向上への取り組み | 利用拡大 | 周知活動 | ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。 | | | ☆ | | |
| サービス向上 | | | ・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。 | | | ☆ | | | 3 |
| 利用者満足度 | | 自主事業 | ・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 受託事業 | ・受託事業は適切に実施されたか。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 改善運動 | ・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。 | | | ☆ | | | 3 |
| 経営状況 | 収支等実績 | 収入確保 | ・収入増加のための取組がなされたか。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 収支計画との整合性 | ・収支状況は、当初収支計画と整合しているか。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 安定経営 | ・安定的な経営が行われたか。 | | | ☆ | | | 3 |
| | | 経理状況 | ・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。 | | | ☆ | | | 3 |
| 評点合計 | | | 標準 | | 54 | 加算 | 1 | 55 | |
| 審査結果 | 公益社団法人山口市徳地農業公社は、農業経営に必要な技術及び知識の習得支援が行えるように新規就農者の受入体制を万全とし、施設の維持管理及び適時適切な修繕を行っています。また、農作業受委託による地域農業の支援や地域に実践的な農業知識技術向上研修、栽培技術の普及等を行い、地域農業を持続的に発展させる仕組み作りを適切に実施しています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で農作業体験などのイベントを開催することはできませんでしたが、職場体験、校外事業など地域の学校と連携を図り地域農業の振興、地域コミュニティの維持、強化に貢献しています。 | | | 年度評価 | | A | | | |
| 【各年度の評価】 | | | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 総合評価 | |
| 総評 | | | A | A | | | | | — |

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名：阿東ふるさと交流促進センター

担当部 阿東総合支所

担当課 農林課

| | | | |
|---|--|--|---|
| 対象(誰、何に対して事業を行うのか) | | 手段(事務事業の内容、やり方、手順) | |
| 市民等利用者 | | <input type="checkbox"/> 指定管理者へ運営維持管理業務を委任しました。 <input type="checkbox"/> 指定管理者へ指導助言を行いました。 | |
| 意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) | | | |
| 市民等が農業に触れ合う機会を創出し、農産物への理解を促します。多くの人がふるさと交流促進センターを訪れます。 | | | |
| 総合計画体系 | 政策 | 産業・観光 | |
| | 施策 | 農林業の振興 | |
| | 基本事業 | 活力ある農山村づくり | |
| 事業開始背景等 | | 県農業試験場徳佐寒冷地分場の廃止に伴い、都市農村交流の拠点として施設が整備され、当初の目的を果たすため、施設の維持管理が必要です。 | |
| 昨年度の実績評価 | | | |
| 妥当性 | 上位成果への貢献度 | | 公的関与の妥当性 |
| | <input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業 | | <input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり |
| 有効性 | 成果状況 | | 年間を通じて都市と農村の交流事業を実施することで一定の成果をあげています。今後も地域の特色を生かした交流事業を継続することで、成果向上の余地はあると考えています。 |
| | <input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 | | |
| | 成果向上余地 | | |
| | | <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし | |
| 効率性 | 類似事業との再編成 | | 市内には同様の施設がありますが、農園等の施設利用者の多くは、自宅からの距離が近いことを条件としているため、施設の廃止、統合は適当でないと考えます。 |
| | <input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし | | |
| | コスト削減余地 | | 施設の用途が制限されており、コスト削減が難しいと考えます。 |
| | | <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切 | |
| 改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など | | | |
| <p>阿東ふるさと交流促進センターの指定管理者であるNPOあとうは、施設の維持管理業務を適切に実施しており、また都市農村交流等の事業を通じて地域の活性化に貢献しており、当センターを有効に管理運営しています。</p> | | | |

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 阿東ふるさと交流促進センター

指定管理者: NPOあとう

指定期間: 平成28年度～令和2年度

| 評価項目 | 評価コメント | 評価 | | | | | 評点 | | | | |
|-------------------|---|--|---|--|------|------|-----|-----|----|---|----|
| | | 不履行多数 | 一部不履行 | 良好 | 優秀 | 特に優秀 | | | | | |
| | | (1点) | (2点) | (3点) | (4点) | (5点) | | | | | |
| 施設の適正な管理運営の確保 | 管理運営の実施 | 運営業務 | ・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。 | 定期的な施設や設備の点検は実施されており、おおむね適正な施設運営が行われている。 | | | ☆ | | | 3 | |
| | 維持管理業務 | ・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。 | センター内及びその周辺環境は良好に保たれており、設備や機器類の保守管理も適切に実施されている。 | | | ☆ | | | 3 | | |
| | 再委託監督 | ・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。 | 適切に行われている。 | | | ☆ | | | 3 | | |
| | 人員配置職員研修 | ・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。 | センター運営のため、必要な人員数が確保されており、センター内の農園管理については経験者が配置されている。また、職員の研修等については、新型コロナの影響で視察等はできないが、野菜の栽培講習会などに参加して研修が行われている。 | | | ☆ | | | 3 | | |
| | 地域連携 | ・清掃除など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。 | 様々なイベントや行事を行う中で、生改連など地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われている。 | | | | ☆ | | 4 | | |
| | 接客対応 | ・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。 | 事故や苦情等も特になく、適切に運営されている。 | | | | ☆ | | 4 | | |
| | 労働環境 | ・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。 | 概ね充実している。 | | | | ☆ | | 3 | | |
| 平等利用、安全対策等、危機管理体制 | 平等利用 | ・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。 | 施設の利用にあたっては、条例や規則等を遵守し、適切な対応が行われている。 | | | | ☆ | | 3 | | |
| | 個人情報保護 | ・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。 | 基本協定に基づき、個人情報の保護が適切に実施されている。 | | | | ☆ | | 3 | | |
| | 安全対策 | ・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。 | 定期的な施設周辺の点検をしており、また、各種イベント等の利用前にも点検を行うとともに、段差解消や蜂注意のチラシ設置などを行っており、適切に対応されている。 | | | | ☆ | | 3 | | |
| | 危機管理 | ・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。 | 定期的な異常箇所点検や感染症対策の徹底を行うなど、適切な安全管理体制が整備され、非常時の連絡網など各種マニュアルも作成されている。 | | | | ☆ | | 4 | | |
| 利用者のサービス向上への取り組み | 利用拡大 | 周知活動 | ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。 | 市内の地域交流センターなどへのイベント情報の周知などに取り組むとともに、市報や農園だよりで周知が行われている。 | | | | ☆ | | 3 | |
| | 利用者満足度 | サービス向上 | ・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。 | ホームページ等を活用し、利用促進を図っている。 | | | | ☆ | | 3 | |
| | | 自主事業 | ・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。 | 新型コロナの影響で中止とするイベントもあるようですが、感染症予防対策を実施するなどして、開催のできる際は実施されている。 | | | | ☆ | | 3 | |
| | | 体験交流事業 | ・体験交流事業は適切に実施されたか。 | 施設の設置目的に沿った事業展開が図られており、特に、地元の小学生の体験交流も感染症対策を行ったうえで受け入れられるなど体験交流者の増加に向けて適切に実施されている。 | | | | ☆ | | 4 | |
| | | 改善運動 | ・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。 | 常に利用者の意見を聴取しており、その意見が施設の管理運営に反映されている。 | | | | ☆ | | 3 | |
| 経営状況 | 収支等実績 | 収入確保 | ・収入増加のための取組がなされたか。 | 新型コロナの影響で中止するイベントもあるが、施設の利用件数を増やすための取組みがされている。 | | | | ☆ | | 3 | |
| | | 収支計画との整合性 | ・収支状況は当初収支計画と整合しているか。 | 人件費の膨らみに加え需用費や役員費の増加があったが概ね経費節減に努められている。 | | | | ☆ | | 3 | |
| | | 安定経営 | ・安定的な経営が行われたか。 | 施設管理のために適正な支出が行われており、収支状況は順調であり、計画的に処理がされている。 | | | | ☆ | | 3 | |
| | | 経理状況 | ・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。 | 複数名の監事による監査が行われており、適正に処理されている。 | | | | ☆ | | 3 | |
| 評点合計 | | | | | | | 標準 | 60 | 加算 | 4 | 64 |
| 審査結果 | 阿東ふるさと交流促進センターの指定管理者であるNPOあとうは、老朽化した建物であるものの、施設の維持管理業務を適切に実施されている。また、都市農村交流等の事業を通じて地域の活性化に貢献され、利用者のサービス向上への取り組みも実施されている。経営状況については、概ね良好の評価とした。 | | | 年度評価 | | A | | | | | |
| 【各年度の評価】 | | | | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | | | |
| | | | | A | B | A | A | A | | | |
| 総評 | ・経営面では苦勞をされておられるようであるが、事業目的、事業内容から指定管理者である「NPOあとう」は適切に施設管理している。 ・また、設置目的である都市農村との交流促進についても積極的に取り組まれ、農業に対する理解と関心を高めることや地域の活性化にも貢献されている。 | | | 総合評価 | | 概ね良好 | | | | | |

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。